

「文化資源と地域再生(アゴラセミナー I B)」について

- ・この授業は、大阪府立大学と和歌山大学が共同で開講する授業です。
- ・社会人の方は、岸和田サテライトの学部開放授業(平成29年度前期)「泉南の自然とその再生ー地形・地質と干潟生物ー」の受講者に限り、下記の【授業計画】の一部を聴講することができます。
- ・聴講希望者は、学部開放授業「泉南の自然とその再生ー地形・地質と干潟生物ー」の聴講申請書(12ページまたは13ページ)の該当欄に✓を記入して申請してください。(希望者が定員20名を超えた場合は抽選で聴講者を決定します。結果は学部開放授業受講通知と併せてお知らせします。)

授業科目名 (英文表記)	文化資源と地域再生 (アゴラセミナー I B) (Culture heritage and community regeneration (Agora seminar 1B))		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	西田 正宏・青木 賜鶴子・前川 真行 (大阪府立大学地域連携研究機構) 菊川 恵三・大橋 直義 (和歌山大学教育学部)		
開講	岸和田サテライト		
聴講可能な 時限	8月9日(水) 3・4限 8月10日(木) 1・2・3・4限 8月11日(金・祝日) 1・2・3・4限 (1限 9:30~11:00/2限 11:10~12:40/3限 13:40~15:10/4限 15:20~16:50)		
<p>【授業の概要・ねらい】</p> <p>和歌山県を中心にその周辺地域(泉佐野市や岸和田市など)には、多くの文化資源が残っている。城は言うまでもなく、各地に伝わる伝承を記した碑や、寺社もそうであろう。名所図会のような文献に残されたこともまた「文化資源」と呼べるかもしれない。これら「文化資源」がはたして、その地域を再生するために有効にはたらくであろうか。あるいは有効にはたらかせるためには、どのような方法が考えられるであろうか。以上のような視点から、さまざまな文化資源を取り上げ、その内実を知るとともに、その有効性について考察する。</p> <p>【授業計画】(聴講は下線の時限のみ可能です。ご注意ください。)</p> <p>8月9日(水) 1限 ガイダンス(西田) 2限 和歌山周辺をめぐっての学生との対話(前川・西田) 3・4限 万葉の勝地としての和歌山を見直す(菊川)</p> <p>8月10日(木) 1・2限 「まち」をあるくということ(前川) 3・4限 道成寺をめぐる説話と伝承(大橋)</p> <p>8月11日(金・祝日) 1・2限 「紀伊国名所図会」は地域再生に有効な視点を提供するか(西田) 3・4限 蟻通神社と和歌をめぐる伝承について(青木)</p> <p>8月24日(木) 1・2・3限 テーマごとの発表とまとめ(西田)</p> <p>【到達目標】</p> <p>さまざまな文化資源についての知見を深め、それを活用する提案ができるようになることを目標とする。</p> <p>【教科書】</p> <p>授業中に適宜資料を配付します。必要な参考書・参考文献等は教員が指示します。</p>			